

地学基礎 小テスト

組 番 名前

第1編 第1章 1 地球の形と大きさ

- (1) アリストテレスは、月食のときに月に映った地球の影が丸いことから、地球の形は〔 〕であると考えた。
- (2) 地球が球形であるため、北極星の高度は、北半球では観測する場所が北から南に行くほど〔 〕なる。
- (3) エラトステネスは、アレキサンドリアとシエネの2都市の〔 〕と〔 〕から、地球の大きさを求めた。
- (4) 緯度が高くなるほど緯度差 1° の距離が〔 〕なることから、地球は〔 〕方向に膨らんだ回転だ円体であることがわかった。
- (5) 実際の地球に近い形をした回転だ円体を〔 〕という。
- (6) 地球だ円体の偏平率は 偏平率 = 〔 〕 で表される。

第1編 第1章 **2** 地球の構造

- (1) 地球内部の層構造を、大きく3つに分けると、外側から〔 〕,〔 〕,〔 〕である。
- (2) 地震波の速度が急激に変化する、地殻とマントルの境界を〔 〕とよぶ。
- (3) 大陸を構成する〔 〕は、上部が〔 〕質の岩石、下部は〔 〕質の岩石である。海洋を構成する〔 〕はほとんどが〔 〕質の岩石である。
- (4) マントルは、鉱物の種類によって〔 〕と〔 〕に分けられる。
- (5) 核は〔 〕の〔 〕と〔 〕の〔 〕に分けられる。いずれも、おもに〔 〕からなり、〔 〕や〔 〕も含まれると考えられている。
- (6) 地球の表面付近の硬い岩盤を〔 〕, その下の流動しやすい領域を〔 〕とよぶ。